

リハビリテーション科 専門研修プログラム



プログラムを通じて自己を磨き、専門医として成長できるよう、
全力でサポートします！

■ プログラムの特徴

- ・千葉県内の急性期病院～回復期リハビリテーション病院まで
さまざまな特色を持った病院を研修するプログラムを組むことができます。
急性期～回復期～生活期のリハビリテーションが経験できます。
- ・一般的な脳血管疾患、整形外科疾患はもちろん、
神経筋疾患、脊髄損傷、小児まで幅広い疾患が経験できます。
- ・嚥下機能障害、高次脳機能障害や義肢装具、筋電図検査、
心臓リハビリテーションまで幅広く勉強できます。
- ・希望があれば、訪問診療やリハビリに必要な内科研修なども経験できます。
- ・興味のある分野、ライフイベントなど
各々の状況に合わせて研修を組むことができます。



■ プログラム責任者

村田 淳

出産・育児・疾病・介護・留学等にあつては、
研修プログラムの休止・中断期間を除く
通算3年間で
研修カリキュラムの達成レベルを満たせるように、
柔軟な専門研修プログラムの対応を行います。



■ プログラムの内容

3年間の専門研修で、
専門医としての基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と、
日本リハビリテーション医学会が定める研修カリキュラムに基づいて、
専門医に必要な知識、技能の習得を図ります。
研修中は、年度毎に達成度を評価し、
基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるよう、
着実に実力をつけていけるようプログラムを計画します。
急性期、回復期、生活期において
各々の特徴・強みのある病院からプログラムを組み、
3年間を通じて必要な症例をすべて経験できます。

募集人数 : 6名
選考方法 : 書類選考、面接

■ 研修プログラムに関するお問合せ先

E-mail : hsp-rehakenshui@chiba-u.jp

お気軽にお問合せください！

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/visit/index.html>

リハビリテーション部ホームページ
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/dept/rehabilitation/>

疾患だけではなく、患者さんが抱える障害、
生きづらさに目を向けています。



リハビリテーションはチーム医療です。
理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士・義肢装具士・
看護師・他の診療科の医師と
連携してリハビリテーションを行っています。

本プログラムの基幹病院である当院は、病床数835床の大学病院で、31の診療科があります。
脳血管疾患、神経筋疾患、骨関節疾患に加え、
外科手術周術期、呼吸器・循環器等内部障害、悪性腫瘍など、
幅広い疾患・障害に対するリハビリテーションアプローチができる施設であるとともに、
臓器移植や人工補助心臓など高度先進医療におけるリハビリテーション症例など、
経験できる分野と症例数は非常に豊富です。
また、診療に従事しながら大学院へ進学し学位を取得することが可能です。

■【千葉大学リハビリテーション科専門研修プログラムのローテーションモデル例】

下図は、専攻医1年目は基幹施設での研修、
2年目はセンター機能があり、かつ回復期病床のあるリハビリテーション専門病院、
3年目は地域に密着し回復期から維持期、在宅支援も行っている
一般病院で研修する例を示しています。
各施設での研修は、基幹施設での研修を6か月以上、
回復期病床での主治医としての研修を6か月以上経ていれば、
必ずしも1年単位である必要はありません。

専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目	専門医試験受験
千葉大学病院 リハビリテーション科	千葉県千葉 リハビリテーションセンター	東京湾岸 リハビリテーション病院	
(1)脳血管障害・外傷性脳損傷など (2)脊椎脊髄疾患・脊髄損傷 (3)骨関節疾患・骨折 (4)小児疾患 (5)神経筋疾患 (6)切断 (7)内部障害 (8)その他 (廃用症候群,がん,疼痛性疾患など)	(1)脳血管障害・外傷性脳損傷など (2)脊椎脊髄疾患・脊髄損傷 (3)骨関節疾患・骨折 (4)小児疾患 (5)神経筋疾患 (6)切断 (7)内部障害 (8)その他 (廃用症候群,がん,疼痛性疾患など)	(1)脳血管障害・外傷性脳損傷など (2)脊椎脊髄疾患・脊髄損傷 (3)骨関節疾患・骨折 (5)神経筋疾患 (7)内部障害 (8)その他 (廃用症候群,がん,疼痛性疾患など)	
リハビリテーションにおける基本的な評価や診察手技に加え、特に急性期のリハビリテーション介入について重点的に習得する	回復期リハビリテーションに加え、小児や高次脳機能障害など継続的な関わりの必要なケースについて、社会資源の活用など社会的リハビリテーションについても習得する	急性期から維持期に至る医療を幅広く担う地域の病院で、地域におけるリハビリテーションの役割、在宅支援等を重点的に習得する	